

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

**2012年度 第2四半期
決算説明資料**

2012年11月1日

東芝テック株式会社

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

決算概要(2012年度上半期累計)

- **売上高 1840億円(対前年同期+83億円)**
既存事業は、円高影響(△40億円)等により海外事業が減収したものの国内事業が好調に推移し前年同期並み。加えて、東芝グローバルコマースソリューション(以下、TGCS)事業の連結化により増収。
- **営業利益 96億円(対前年同期+45億円)**
増収に加え、販売管理費の削減等により増益。
- **フリーキャッシュフロー △286億円(対前年同期△265億円)**
TGCS事業取得にかかる対価の支払いのため大きくマイナスとなったものの、同支払を除くと、前年同期を上回りプラス。
- **東芝グローバルコマースソリューション(TGCS)**
TGCS事業が、米国、カナダ、メキシコ、オーストラリアの4拠点で8月1日から営業を開始。
- **配当**
1株当たり4円の間配当(対前年同期+1円)の実施を決定。

2012年度上半期累計 業績

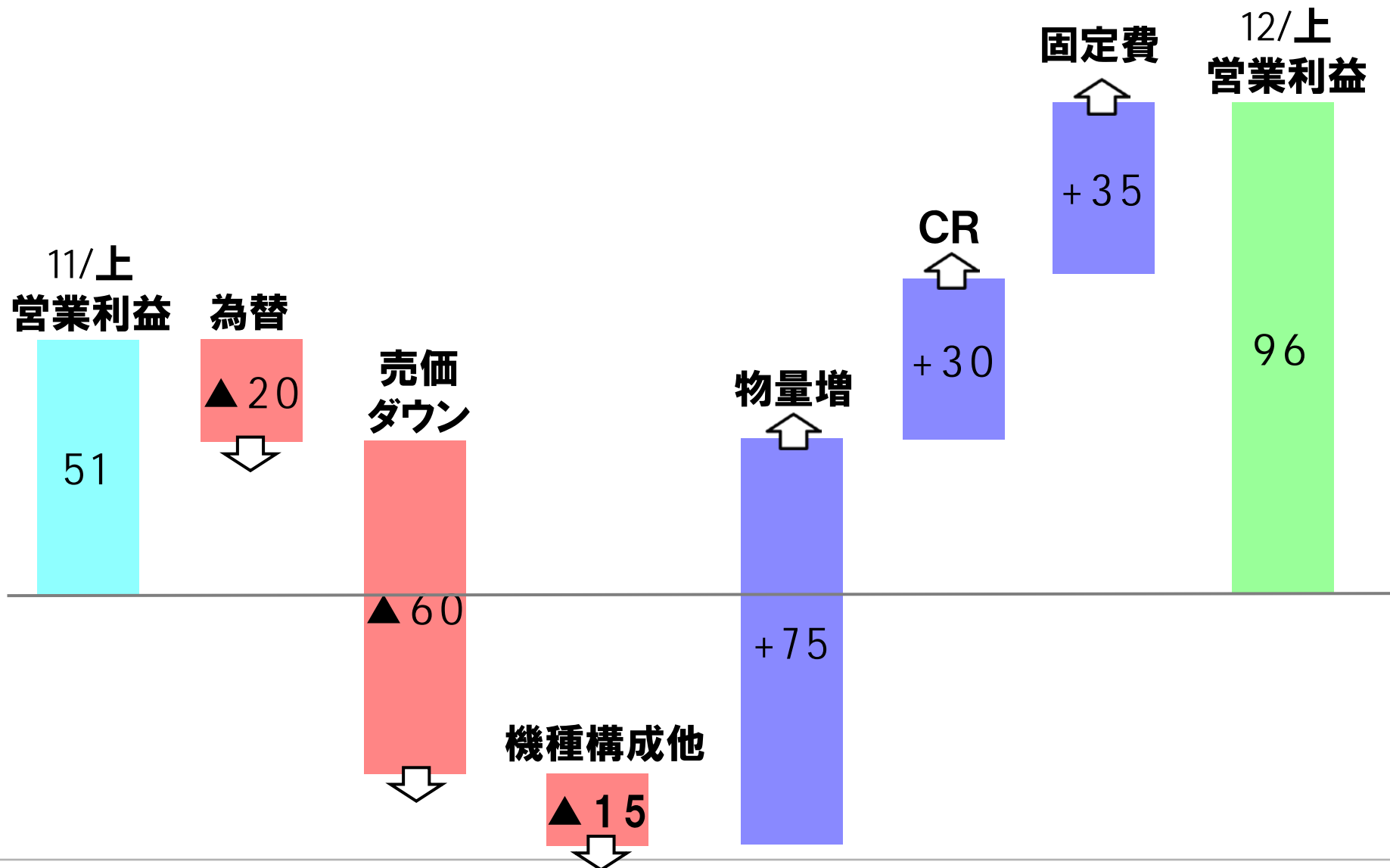
単位:億円

	12年度 上期	11年度 上期	12年度 期初計画	差異	
				対11/上	対期初計画
売上高 伸長率%	1,840	1,756	1,900	83 105%	△60 97%
営業利益 対売上高比率%	96 5.2%	51 2.9%	60 3.2%	45 2.3%	36 2.0%
経常利益 対売上高比率%	85 4.6%	29 1.7%	50 2.6%	56 2.9%	35 2.0%
税引前利益 対売上高比率%	72 3.9%	24 1.4%	35 1.8%	48 2.5%	37 2.1%
当期純利益 対売上高比率%	38 2.0%	12 0.7%	17 0.9%	26 1.3%	21 1.1%
為替レート(円) US\$	79.41	79.80	80.00	△0.39	△0.59
EUR	100.64	113.78	105.00	△13.14	△4.36

注. 2012年8月1日から、東芝グローバルコマースソリューション事業の業績を連結対象に組み込んでおります。

営業利益の増減分析(2012年度上半期累計)

単位:億円



セグメント情報(1) 売上高・営業利益

単位:億円

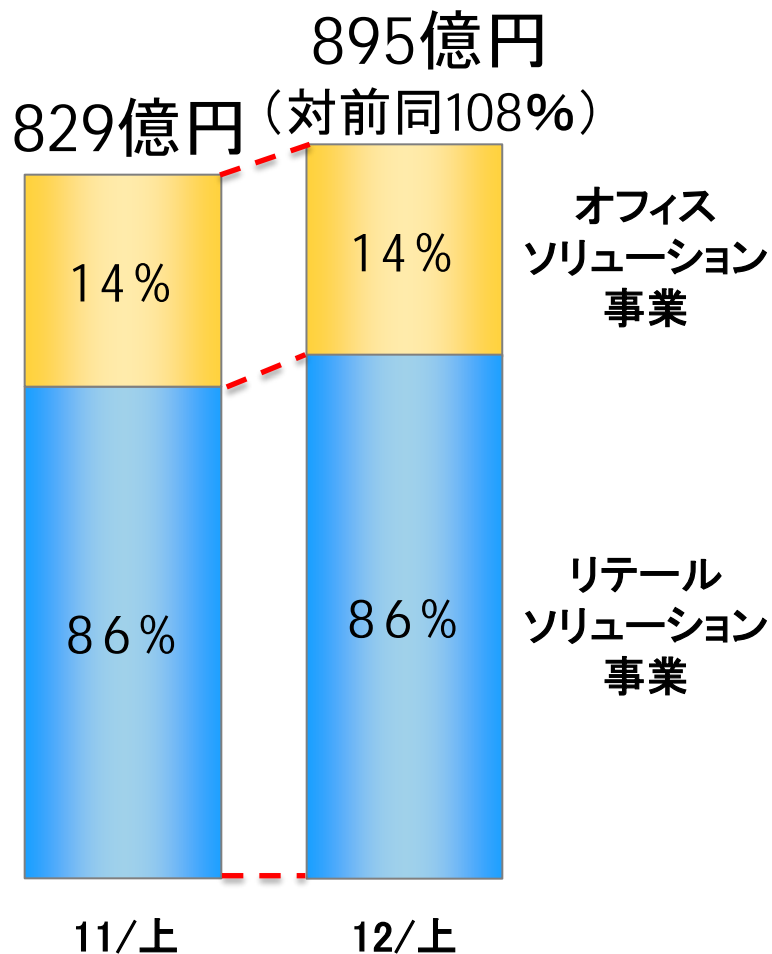
売上高	12年度 上期	11年度 上期	12年度 期初計画	差異	
				対11/上	対期初計画
システムソリューション	895	829	860	66	35
グローバルソリューション	1,005	993	1,105	13	△100
計	1,900	1,821	1,965	79	△65
部門間取引	△60	△65	△65	5	5
連結計	1,840	1,756	1,900	83	△60

営業利益	12年度 上期	11年度 上期	12年度 期初計画	差異	
				対11/上	対期初計画
システムソリューション	44	19	39	25	5
グローバルソリューション	52	32	21	21	31
連結計	96	51	60	45	36

注. 2012年8月1日から、東芝グローバルコマースソリューション事業の業績をグローバルソリューションのセグメントに組み込んでおります。

セグメント情報(2) システムソリューション

事業別売上高構成比

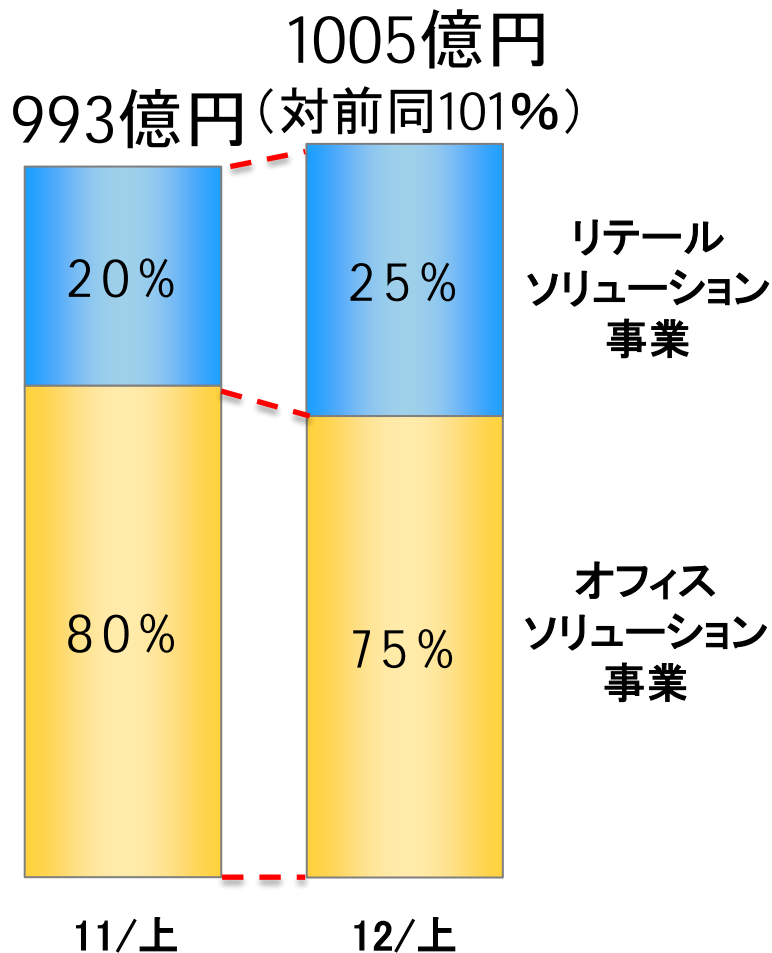


◆ リテールソリューション
コンビニエンスストア向けや専門
店向けにPOSシステム関連の売
上が拡大。また、オートIDシ
ステム関連においても、バー
コードプリンタ・消耗品の売
上が好調。
その結果、前年同期比は8%増収。

◆ オフィスソリューション
コスト競争力のあるカラー低
速MFPを7月にリリースした
ことなどによりMFP全体の売
上が伸長。
その結果、前年同期比は8%増収。

セグメント情報(3) グローバルソリューション

事業別売上高構成比



◆ オフィスソリューション

中国市場等の市況低迷に加え、円高の影響により減収。その結果、前年同期比は6%減収。

コスト競争力のあるカラー低速MFPを上期に投入し、下期から本格拡販。

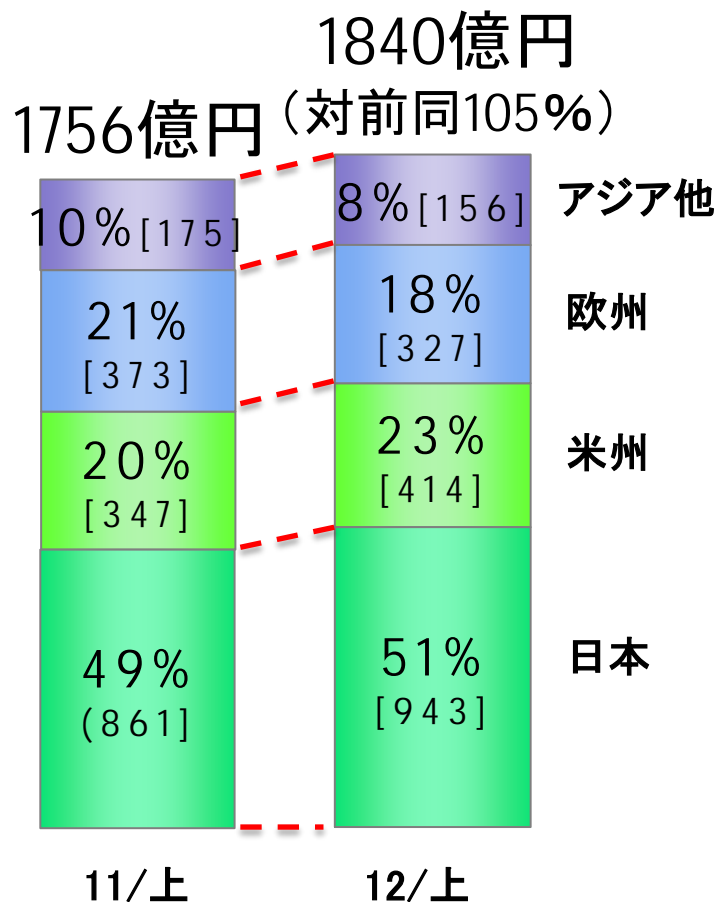
◆ リテールソリューション

8月から米国などのTGCS一部拠点で営業開始。

その結果、前年同期比は32%増収。

仕向地別売上高

仕向地別売上高構成比



注. [] 内 仕向地別売上高(単位:億円)

◆ 日本

リテールソリューション、オフィスソリューションともに好調に推移し、増収。

◆ 米州

為替の影響を受けたものの既存のPOSシステム及びオートIDシステムが伸長したことやTGCS事業の連結化により、増収。

◆ 欧州

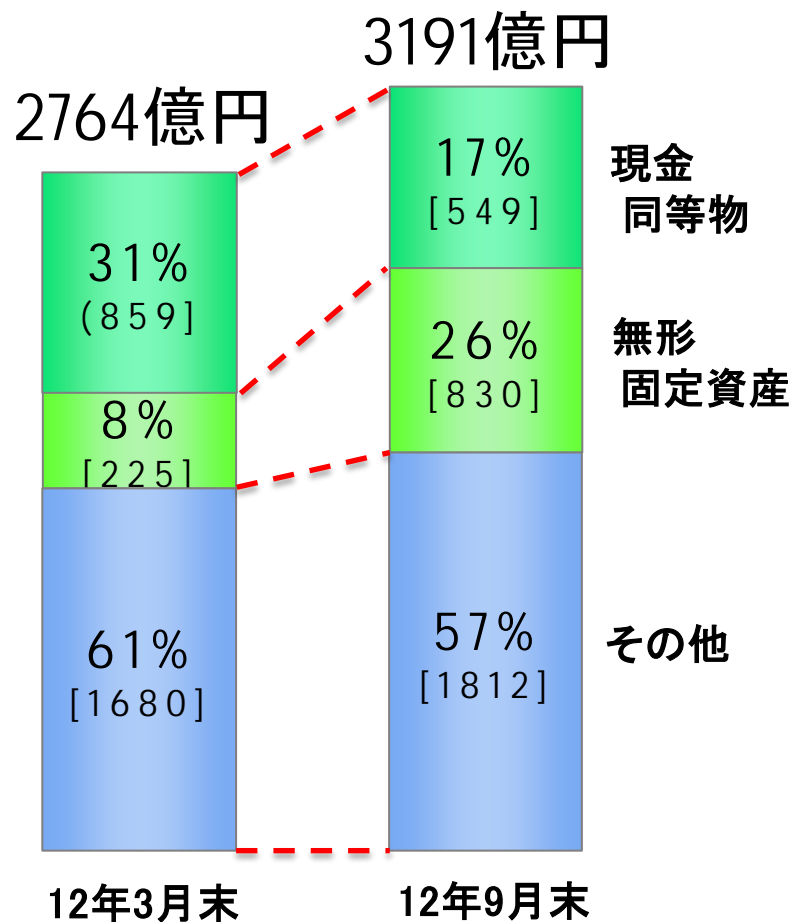
為替の影響等から総じて売上は減少したものの、為替の影響を除くと概ね前年同期の水準を維持。

◆ アジア他

景気減速の影響等により、減収。

貸借対照表(1)

資産の部



◆ 現金同等物

主にIBMからの事業取得にともなう支払等のため310億円の減少。

◆ 無形固定資産

主にIBMからの事業取得にともなう資産の追加等により、605億円の増加。

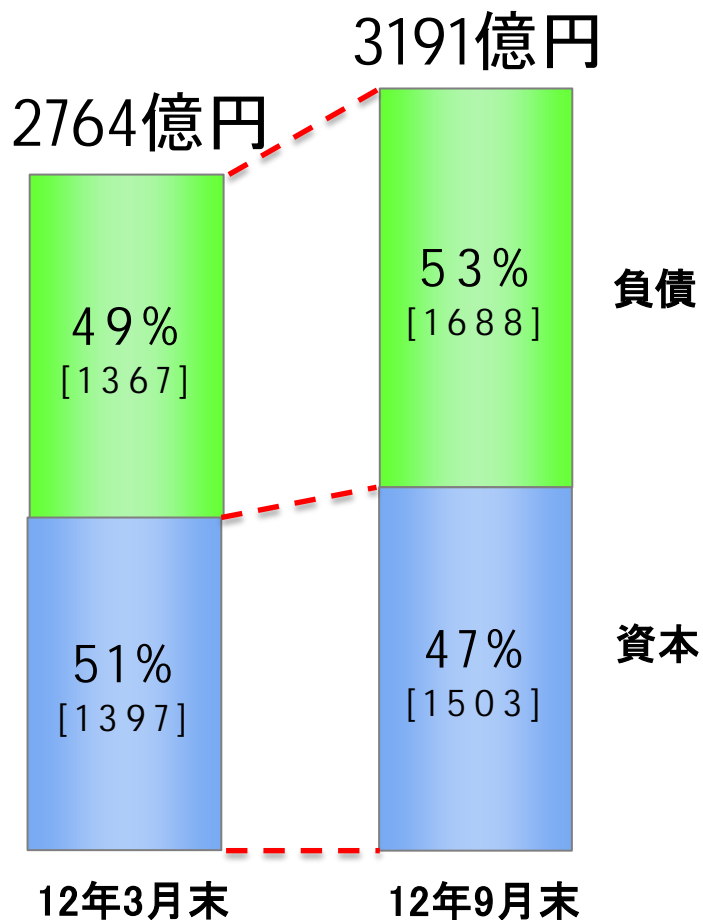
◆ その他

主にIBMからの事業取得にともなう売掛金、棚卸資産の追加等により、132億円の増加。

注. [] 内 科目別残高(単位:億円)

貸借対照表(2)

負債及び資本の部



◆ 負債

主にIBMからの事業取得にともなう対価の未払金等により、321億円の増加。

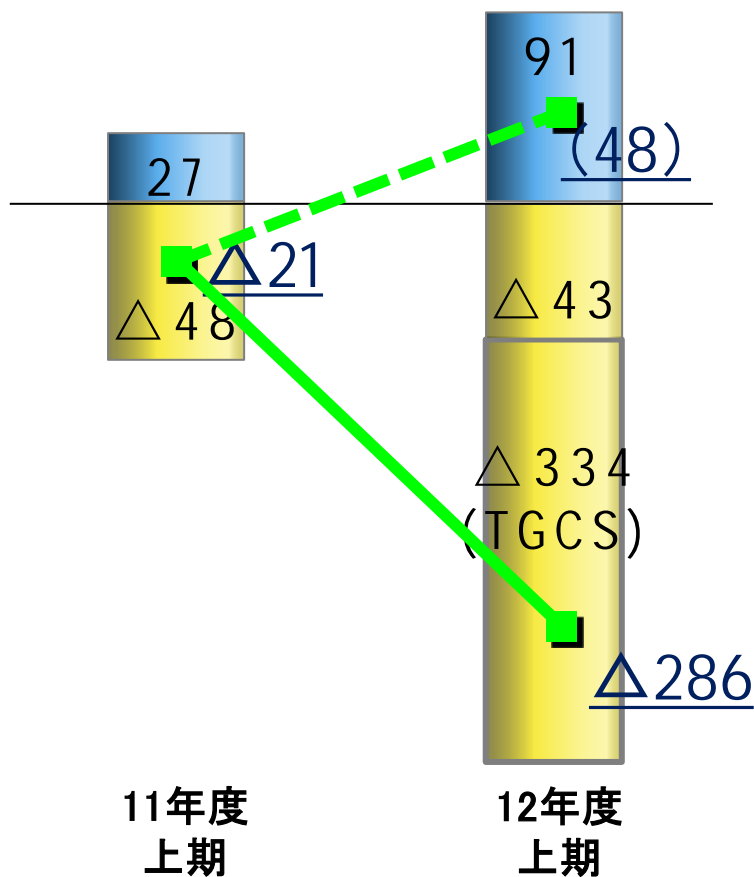
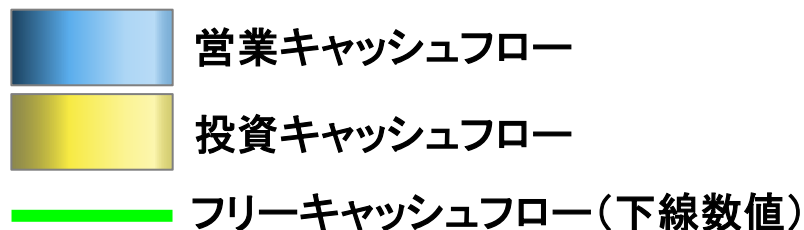
◆ 資本

主にIBMからの事業取得に際し、IBM側の出資にともなう少数株主持分等により105億円の増加。

注. [] 内 科目別残高(単位:億円)

キャッシュ・フロー

単位: 億円



◆ フリーキャッシュフロー
 TGCS事業取得にかかる対価の支払い(334億円)のため、フリーキャッシュフローは大きくマイナス(△286億円)となったものの、同支払を除くと、前年同期の△21億円を上回り48億円のプラス。

2012年度 業績見通し

単位: 億円

	12年度 見通し	11年度 実績	12年度 期初計画	差異	
				対11年度	対期初計画
売上高 伸長率%	4,100	3,506	4,200	594 117%	△100 98%
営業利益 対売上高比率%	170 4.1%	108 3.1%	150 3.6%	62 1.0%	20 0.5%
経常利益 対売上高比率%	150 3.7%	89 2.5%	130 3.1%	61 1.2%	20 0.6%
税引前利益 対売上高比率%	120 2.9%	79 2.3%	100 2.4%	41 0.6%	20 0.5%
当期純利益 対売上高比率%	60 1.5%	26 0.7%	49 1.2%	34 0.8%	11 0.3%
為替レート(円) US\$	77.71	79.07	80.00	△1.36	△2.29
EUR	97.82	108.97	105.00	△11.15	△7.18

注. 2012年8月1日から、東芝グローバルコマースソリューション事業の業績を連結対象に組み込んでおります。

セグメント情報 2012年度業績見通し

単位:億円

売上高	12年度 見通し	11年度 実績	12年度 期初計画	差異	
				対11年度	対期初計画
システムソリューション	1,800	1,696	1,760	104	40
グローバルソリューション	2,430	1,927	2,570	503	△140
計	4,230	3,623	4,330	607	△100
部門間取引	△130	△118	△130	△12	0
連結計	4,100	3,506	4,200	594	△100

営業利益	12年度 見通し	11年度 実績	12年度 期初計画	差異	
				対11年度	対期初計画
システムソリューション	90	58	90	32	0
グローバルソリューション	80	49	60	31	20
連結計	170	108	150	62	20

注. 2012年8月1日から、東芝グローバルコマースソリューション事業の業績をグローバルソリューションのセグメントに組み込んでおります。

(参考)設備投資額、研究開発費

単位:億円

	12年度 上期	12年度 見通し	11年度 実績	12年度 期初計画	12年度見通し 差異	
					対11年度	対期初計画
設備投資額	30	110	72	100	38	10
研究開発費	101	240	203	240	37	0

注. 設備投資額 有形固定資産のみ

TOSHIBA

Leading Innovation >>>